

令和4年度第1回古賀市公民館運営審議会会議録

【名称】 令和4年度第1回古賀市公民館運営審議会

【日時】 令和4年8月30日(火) 19時～20時30分

【場所】 リーパスプラザこが交流館 103洋室

【出席者】

公民館運営審議会委員

末次威生会長、吉田義徳副会長、

富山巽委員、梯裕子委員、山本節子委員、樋口律子委員、

清水佳香委員、檜山みどり委員、升野邦江委員、中西博宣委員

事務局

教育部長 横田浩一、生涯学習推進課長 樋口武史、

公民館係長 的野いと、公民館係 國友啓章

【傍聴者数】 2名

【内容】

1. 開会のことば

末次会長が開会のことばを述べるとともに、2名の傍聴を認める。

2. 教育委員会あいさつ

教育部長 横田があいさつ

3. 委員自己紹介

任期中、委員4名が交代したため改めて全員自己紹介

4. 付議事項

(1) リーパスプラザこが施設利用状況について

[事務局説明]別紙2のとおり

[委員からの意見等]

(委員)コロナが早くおさまって利用状況が伸びて欲しいと思う。子どもたちは発表の場に備えて必死に練習している。こたえられる行動を起こしていければ。

(委員)利用を再開していない団体数を把握しているか？

(事務局)定期利用団体は元々100団体近くあったが今は70数団体。この差がコロナによって何らかの理由によって活動を休止したものとする。活動休止になっている、団体の高齢化、うまく活動がまわらなくなった、という団体もあるのでは。どちらにせよ安全に活動が再開できるようになったという周知広報をしていく。古賀には色んな活動があると広く周知していきたい。

(委員)文化協会会員のピークもH29年。高齢化している。コロナでやめた団体もある。入会する若い人がいない。多世代で交流していかないと古賀市の文化を継承していくことはできない。なんらかの手を打ちたい。

(事務局)古賀市生涯学習基本計画はR6年度から第3期計画となる。今年度市民アンケート実施予

定。色んな世代の方に万遍なく実施し、どの年代の人がどれくらい携わっているのか、携わっていないのはどんなハードルがあるのか等つぶさに聞いて行く予定。

(2) 公民館系の事業について

[事務局説明]別紙3・別紙4・別紙5・別紙6のとおり

[委員からの意見等]

(委員)コロナの影響により実施していない分館や教養学級を把握しているのか。また、コロナの影響もあり、どのような活動をするか悩んでいる分館もあると思うがどのように対応しているか。

(事務局)実施していない分館や教養学級について把握している。昨年度は全ての分館が分館活動を実施。昨年度から分館長・分館主事全体会において、各分館の活動に公民館係が参加させてもらうよう呼び掛けている。また、今年度第2回全体会においては、どのような活動をしたら良いか分からないという分館からの悩みに応じるため、公民館元気プロジェクト等講座事業について詳しく説明。個別に相談してもらうよう呼び掛けている。

(委員)リーパスカレッジについて。オンライン配信は行わないのか。時代のニーズに合わせ、色々な形があった方が良いでしょうと思う。また、録画により見たいときにいつでも何度でも再生できるという手法もあった方が良いでしょう。

(事務局)オンライン化については昨年度からの懸案事項となっている。対面でないと難しい講座もある。受講料を300円徴収しており、受講料だけ支払いに来てオンラインで受講してもらうのもどうかということもある。

(委員)一律300円徴収しているのか。

(事務局)義務として行っている家庭教育講座は無料としている。その他の講座は自分を豊かにして欲しいという思いから実施しており、受益者負担として300円を徴収している。

(委員)家庭教育をオンラインにできないか。

(委員)この施設(リーパスプラザこが)はどのような施設か聞かれることがある。若い世代から社会教育に参加し、その先に自主的な活動があると考え。性教育のときにいきなりリーパスプラザを使用するには敷居が高いかもしれない。オンラインではこの場に集まれる人と集まれない人の差を解消できると考える。

(事務局)性教育や思春期講座はニーズが高いが参加者が少ない。しかし参加者の満足度は高い。検討していきたい。

(委員)リーパスカレッジに託児があることは良いと思う。利用者はどれくらいいるか。

(事務局)今年度実人数で3人。

(3) リーパスプラザこが整備に伴う基本計画策定及び事業可能性調査委託について

[事務局説明]調査委託の事業者選定進捗状況について

[委員からの意見等]

(委員)アンケートはどういう人が対象になるか。若い世代の声も届けてもらえたら。

(事務局)できるだけ若年層の声を拾いたい。若年層が20年後、コア層になる。今の子どもたちがどうしているか、知る良い機会であり、ワークショップ等組み合わせることで実施できたらと考えている。

5. その他

(1) 各委員から

(委員)リーパスの防災訓練について。リーパスを借りる際、何かあった場合のマニュアルがない。火事があったとき、主催者がどうしたらいいか。大ホール、多目的ホールを使う人にマニュアルをもらえたら。

(事務局)年に2回臨時休館日を設け、定期利用団体を対象に活動をしている。5月は除草作業、自分たちの手でこの館をきれいにする活動。9月は避難訓練。普段からリーパスを活用いただいている方たちがどう動けば良いかを体験する。ただし定期利用団体のみを対象としているため訓練に参加できない団体の想定も必要。実現できるように準備したい。

(委員)福岡県公民館大会に参加した。持続可能な地域づくり、若者の取り込みについての事例発表があった。各地域でも若者の取り込みに関心が行っているのでは。公民館は若者が来にくいのでは。小学生までは来るがそれより上の年代の若い世代が利用していない。リーパスカレッジは若者が活動していく契機となり、活力が生まれていく。公民館活動が進められていく。

(2)事務局から

[事務局説明]第3次生涯学習推進基本計画の策定について、大ホール舞台工事予定について

6. 閉会あいさつ

吉田副会長があいさつ